

# エコピープルになろう！

バイオマスやカーボンオフセットなど、環境に関する言葉をよく耳にするようになりました。一人ひとりが環境に関する正しい知識を持ち、環境問題を身近なものとして捉えることが地球環境の改善・保全へとつながります。皆さんも、eco 検定の公式問題に挑戦して、エコピープルを目指してみませんか。

※ eco 検定とは、東京商工会議所が実施している環境社会検定試験です。検定の合格者を「エコピープル」と呼んでいます。「エコピープル」とは、幅広い環境問題に対する基本的な知識を有し、そこから生まれる問題意識を日常の行動に移そうとしている方々、あるいは既にそうした活動を行っている方々に対する敬意を込めた名称です。

●東京商工会議所 検定試験情報サイト <http://www.kentei.org/index.php>



**問1** 次の文章のうち、内容が正しいものは①を、誤っているものは②を選んでください。

ア. 日本の太陽光発電の導入量は、2005年度末において、世界の導入量（370万kW）の約4割（142万kW）を占めており、世界第1位である。

①○ ②×

イ. 電球形蛍光灯は、白熱電球と比較して価格は高いが、長寿命で4倍から5倍の高いエネルギー効率があり、二酸化炭素の排出削減につながるだけでなく、電気代も節約できるので経済的であるといえる。

①○ ②×

**問2** カーボンオフセットの説明として、最も適切な文章を下記の①～④の記述の中から選んでください。

① 冷凍機や空調機の冷媒としてオゾン層破壊物質であるフロンや代変フロンの代わりに二酸化炭素を使用すること。

② 風力発電機、小型水力発電機、太陽光発電装置などの自然エネルギーを利用した発電機器の設置に、国が補助金を出して普及をはかる仕組み。

③ 森林による二酸化炭素の吸収作用を高めるため、植樹や間伐、下草刈りなどを行って、森林を持続可能な形で適切に管理するプログラム。

④ 企業活動や日常生活で二酸化炭素の排出削減が困難な排出量について、他の場所で行われる排出削減活動への投資や、植林などの活動を通じて埋め合わせするという考え方。

**問3** 発電すると同時に、発電にともなって発生する温水や蒸気を給湯や空調などに有効に活用するシステムで、省エネ性に優れている。この説明に該当する最も適切な語句を以下の中から選んでください。

①ヒートポンプ ②サーマルリサイクル ③コージェネレーション ④バイオマス発電

**問4** 地球温暖化に関する次の①～④の記述の中で、その内容が最も不適切なものを一つだけ選んでください。

① 地球温暖化の根本的な主因は、オゾン層が破壊されることにより、太陽の光線がより強く地球上に照射され、地球の温度が上昇することである。

② 温室効果ガスは、一定の濃度であれば地表の気温の維持に役立つが、温室効果ガスが増えすぎると、温度調節のバランスが崩れるため問題となる。

③ 地球の大気の75%が対流圏に存在するので、温室効果ガスのほとんどは、対流圏に存在していると考えられる。

④ 今後も大量の化石燃料が消費され続けると、2100年にはCO<sub>2</sub>濃度が600ppm以上に増加し、地球の平均気温が最大6.4℃上昇すると予想されている。



2009年版 環境社会検定試験 eco 検定 過去・模擬問題集より抜粋

## eco 検定 解答&解説

**問1**

**ア. ②**

日本は2004年まで世界のトップであったが、2005年度末にドイツに抜かれ、2位となった。

**イ. ①**

54Wの白熱電球と10Wの電球形蛍光灯を比較すると、蛍光灯は年間88kWh（キロワット時）の削減で約1900円の節約になる。しかし、頻繁につけたり消したりしていると、蛍光灯の長寿命というメリットが失われるため、このような場所では白熱電球のほうが向いている。

**問2. ④**

①は、ノンフロン冷媒といわれるもので、二酸化炭素、イソブタンなどの炭化水素、アンモニア、水などがある。

③は、FSC（森林管理協議会）認証プログラム。

**問3. ③**

①は、何らかの機械的な仕事を加えて、熱を低熱源から高熱源へ移動させる装置。

④は、バイオマスを燃焼させたエネルギーで発電を行うシステム。

**問4. ①**

地球温暖化の根本的な主因は、大気中の温室効果ガスの濃度が高くなることにより、地球表面と大気がお互いに暖めあい、温室効果で地表と大気の温度が上昇することである。